



Tobira no Muko

扉のむこう (抜粋) Left Handed

この映画は、日本のひきこもりに興味を持った英国人監督が取材をもとに脚本を書き、撮影したものです。映画の舞台は都市郊外の戸建て住宅。学校で問題を抱える中学生宏がある日突然自分の部屋に閉じこもってしまう。両親はそのことを恥じ、友人や親戚にも事実を隠そうとするが家庭は次第に崩壊してゆく。そこに両親から相談をうけた訪問支援の男性が訪れる…というストーリー。

今回の抜粋版には、母親からの相談を受けた訪問支援員が宏をセンターへ導くシーンを中心に編集されています。尚、訪問支援員役は当センター理事長の工藤定次。母親や宏への態度や言葉使いは、長年ひきこもりの現場で培われた説得力のあるもので「訪問支援の現場」をリアルに切り取った映像になっています。



ひきこもり状態の若者の心の中に柔らかな灯にも似た生きようとする気持ちをどう蘇らせることができるのか…

訪問支援員であれば誰もが悩ましい思いに陥る瞬間がある。

この教材はリアルな場面を淡々と描くことにより、見る者の想像力を鍛える効果があります。

訪問支援の教材としてぜひお役立て下さい。



Directed by Laurence Thrush
24 minutes DVD NTSC, All Regions
English Sub-titles

扉のむこう (抜粋)

販売価格 1,000円(税込)



訪問支援を志す方や保護者の方に

日本初の本格的専門書登場!!

訪問支援の
基本的な心構え、
支援の進め方



ニート・ひきこもり
訪問支援マニュアル

販売価格 5,000円(税込)

「ひきこもり」支援として、訪問支援のほかにも、カウンセリングやメンタルフレンドといった支援方法がよく知られているが、それらとの違いについても簡単に触れておこう。カウンセリングやメンタルフレンドといった支援の中心となるのは、対象者の話に傾聴し、関係性を作っていくことである。こうしたことは訪問支援においてももちろん必要とされる。だが、訪問支援の重要な目的は、それに留まらず、対象者が外に向けて動いていけるよう支え、動機づけていくことにある。対象者と話し合いながら目標を設定し、それに向けて一步一步進んでいくことが必要なのである。

【本マニュアルの利用にあたって】より

生活保護世帯における
「負の連鎖」を断ち切る



生活保護世帯における
若年者訪問支援マニュアル

販売価格 3,000円(税込)

生まれた時から生活保護を受給している世帯に育ち、親の働く背中を見ておらず、就労観も育っていない若者のケースもあり、近年、生活保護世帯で育った子ども達自身が、生活保護を受給するという現象が問題視されるようになってきている。これは生活保護世帯における「負の連鎖」と呼ばれる。こうした負の連鎖に代表されるような、生活保護の(世代をまたぐ)長期化を防ぐため、生活保護世帯に対して経済的な援助だけでなく、生活保護世帯とそこで育つ若者が抱える多様な課題に対する取り組みをサポートすることが必要とされている。

【生活保護世帯における負の連鎖】より

購入のご案内



ひきこもり支援の
生きた教材を
DVDでお届け。

Tobira no Muko

扉のむこう (抜粋) Left Handed



ひきこもり訪問支援教材

Directed by Laurence Thrush
24 minutes DVD NTSC, All Regions
English Sub-titles

●モノクロ/24分

販売価格 1,000円(税込)

ニート・ひきこもり

訪問支援マニュアル

目次

1. A君の事例から
2. 本マニュアルの利用にあたって

第一章 訪問支援の対象者・支援の基本方針

- 1章 「ニート・ひきこもり」とは
- 2章 訪問支援の目的と基本方針
- 3章 訪問支援の経過と結果

第二章 支援の実際

- 1章 インテーク—相談面接から訪問へ
- 2章 訪問
- 3章 訪問支援のケース・スタディ
- 4章 対象者・家族の声
- 5章 支援現場で想定されるやりとり
- 6章 円滑な支援のために—支援の全体像

第三章 付録

1. 訪問支援Q&A
2. 用語解説
3. 参考文献

●A4判/142P
販売価格 5,000円(税込)

生活保護世帯における

若年者訪問支援マニュアル

目次

- 1章 訪問支援開始までの基本的な流れ
- 2章 ケースワーカーからの引継ぎと支援方針
- 3章 対象者・対象家庭のタイプ別の支援方針
- 4章 初回訪問
- 5章 2回目以降の訪問
- 6章 CW・福祉事務所と支援団体との連携
- 7章 訪問支援のケース・スタディ
- 8章 支援現場における想定問答
- 9章 対象者・保護者へのNG対応
- 10章 訪問支援から地域若者サポートステーションにつなぐ工夫

●A4判/80P
販売価格 3,000円(税込)

お申し込みは、下記購入申込用紙をFAXでお送りください。

お支払いは、お送りする書籍と同封の郵便振替用紙をご利用いただきます(送料をご負担いただきます)



●FAX 042-551-6759

受付時間：24時間受付(年中無休)

訪問支援員 養成講座のご案内

各地域の皆様が「訪問支援員・養成講座」を気軽にご利用いただけるよう、出張講座を承っております。マニュアル編纂に携わった講師による講座です。

講座内容(訪問支援の基礎知識と方法論)

- 30年以上の訪問支援の実績を持つ当団体の訪問支援のノウハウについての座学
- 実際のひきこもり事例を基に家族面接・訪問支援における基礎知識・方法論の解説
- 実際のひきこもり事例を使って、訪問支援で現実にかかる場面を想定して、受講者に支援者役を演じてもらい、疑似体験を通じて、対応方法を学ぶ。
- インテーク面接場面、訪問場面のロールプレイ
- ポイント解説と振り返り

講座費用(研修場所・講座内容により費用は変動いたします)

- 講師2名派遣 1日講座(6時間程度)
講師料 60,000円～
- 交通費:実費(宿泊を要する場合も)
- その他:マニュアル代

受講希望者
2名以上で
お申し込みください

購入申込書

FAX 042-551-6759

Tobira no Muko 扉のむこう (抜粋) Left Handed	1,000円(税込)	_____ 枚	合計 _____ 円	注文合計額 _____ 円
ニート・ひきこもり 訪問支援マニュアル	5,000円(税込)	_____ 冊	合計 _____ 円	
生活保護世帯における 若年者訪問支援マニュアル	3,000円(税込)	_____ 冊	合計 _____ 円	
お申込者氏名	フリガナ _____			
お申込者住所	〒 _____			
				連絡先 () _____

※いただいた情報は他に利用いたしません。

個人情報のご提供に関する同意書

特定非営利活動法人青少年自立援助センター（以下「当法人」という。）は、事業遂行に関わる個人情報をご提供いただいております。ご提供いただいた個人情報の取扱いについては下記の通りとなっております。内容をご確認の上、ご署名ください。ご質問がある場合は、個人情報苦情及び相談窓口までお申し出ください。

【利用目的】

当該事業遂行のため

【第三者への提供】

法令等に基づく場合を除いて、当個人情報を本人の同意を得ずに第三者へ提供することはありません。

【委託】

当個人情報の取扱いの委託を行なう予定はございません。

【個人情報提供の任意性】

貴殿が当法人に対して個人情報を提供することは任意です。ただし、個人情報を提供されない場合には、当該事業にかかる事務処理等について支障が生じる恐れがあります。

【個人情報の開示等の求めについて】

当法人では、当個人情報に関する利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止（「開示等」といいます。）の求めを受け付けております。その手続きについては、個人情報苦情及びご相談窓口へご連絡下さい。ただし、法令等に基づく場合は、開示等に応じられない場合がございます。あらかじめご了承ください。

<個人情報苦情及び相談窓口>

特定非営利活動法人青少年自立援助センター
個人情報保護管理者 工藤 姫子
連絡先 〒197-0011 東京都福生市福生 2351-1
電話番号 042-553-2575

【応募者ご署名欄】

私は上記に同意の上、私の個人情報を提供します。

日付： _____

氏名： _____